

한청통신

韓 青 通 信



在日韓国青年同盟 機関紙

2014 年 春号



出会おう！同胞青年 出会おう！我らが韓青

記念すべき50回目の冬期講習会。全国の若い青年が躍動し、出会いと感動が生まれる

04



韓青で仲間に出会えた奇跡！

感動の第50回冬期講習会に参加者の声でお伝えします

02

【全国活動紹介】

各本部の活動と取り組みを紹介

06

新連載【蘇る維新独裁】維新復活の危機に歴史を学びなおす
Vol.2 維新政権

07

国家情報院は国家操作院！

国際問題にも発展しかねない国情院の不正を【韓青視点】で解説

08

【私の本棚】『あの壁まで』

あの時代の“延長線上”に“いま”がある

全国活動紹介



アンニョンハセヨ、韓青大阪です。

SF2014 では、大阪本部も新しい仲間を迎えるでき、充実した時間を過ごすことができました。

先日は本部で感想会を行い、楽しく講習会を振り返るとともに、今後もみんなで大阪本部を盛り上げていこう！と決意を新たにしていきました。

いよいよ春！この春も韓青大阪ではイベント目白押しです。4/6（日）には、大阪城公園で花見。人気スポットですので、朝から常任委員を場所取りに派遣し（笑）、楽しい花見になりました。その後、カラオケ、二次会と目一杯満喫しました。

ついで4/27（日）には連帯フェスタにサムルノリ出演、5/3（土）～4（日）にはわくわく合宿、そして6/15（日）には統一マダン生野と、行事目白押しです！新しい仲間たちとともに、これからも活発に活動していきます！

大阪

京都

ヨロブン、アンニヤシミカ！！京都のゆるキャラ「九条ねぎ」（仮）です。

SF 楽しかったですね。SF 終わって飲みに行きましたか？勿論行きましたよね？感想回しましたか？うまく言えなくてもいいから聞かせてほしい！みんながどう思ったのか、何が楽しかったか非常に興味深いです。

京都も飲みに行きました。居酒屋で働いている盟員D君がお店をセレクト！そこに SF に来れなかったヌナから電話が！！みんなと飲みたいという電話でした！声の低いメタルお兄さんとちょっと強引な性格のお兄さん、やるときはやるオギさんと僕「九条ねぎ」の6人で飲みに行きましたー。みんな食べる食べる食べる。昼間おにぎり弁当を食べたのにみんな食欲が凄い！と思ったら最初だけで結局「九条ねぎ」が食べすぎてましたー。

SF 後ハンチョンを盛り上げようと努力してくれているオギさんに本当に感謝です。先日の学生協の総会でも司会を引き受けてくれて大活躍でした。これからの活躍に期待したいです。



SF 後ハンチョンを盛り上げようと努力してくれているオギさんに本当に感謝です。先日の学生協の総会でも司会を引き受けてくれて大活躍でした。これからの活躍に期待したいです。



韓国語教室

「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付！

担当：金梨恵 (私・イ)
080-6510-1973

韓国語教材専門店 **ハングルの森**



korean textbook shop

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

兵庫県本部では、4月からウリマル学習会が二班体制になり、毎週にぎやかに楽しく学習をしています。冬期講習会初参加だった仲間も、一所懸命ウリマル学習をしています！習う事一つひとつが新鮮なようで、授業が終わっても質問攻め（笑）でもそんな時間がとっても楽しい♪

そして、4月からは新しい楽しみも一つ増えました。冬期講習会初参加の李兄弟、なんとお料理が大の得意！今まで“お鍋”“たこ焼き”のローテーションだった事務所ご飯に多種多様なレパートリーが加わり、まさに居酒屋いらず！！最近では皆、ウリマル後のご飯が楽しみで本部に来ているんじゃないかと思うほどの美味しさなんです♪

そんな兵庫県本部では、■セミナー：第二・四月曜日 午後7時半～ ■ウリマル学習会：毎週水曜日 午後7時半～ ■楽器サークル 毎週金曜日 午後7時15分～（5月より）というスケジュールで活動しています。ぜひお気軽にご参加ください♪

兵庫





愛知県本部の近況を報告します。

今回のSF（スノーフェスティバル）の文化発表では、律動を披露しました。練習段階で律動の完成度に個人差がかなりあった

ので不安でしたが、本番は楽しく踊ることが出来て、若干のミスがあったものの、参加者のみんなにも楽しい雰囲気は伝えられたかと思います。愛知と言えば盛り上げ役（勝手なイメージ）という役目が果たせたのではないのでしょうか。

また、今回の練習ではSF初参加のメンバーとSF二回目の新しいメンバーが一番頑張ってくれました。そんな愛知の新しいメンバーを含め、今回のSFで全国から集まってくれた新しいメンバーに良い刺激をもらい、やる気を燃やしている全国の同志がいっぱいいます。今回ももらった良い刺激を無駄にしない為にも、まずは毎日毎日の積み重ねを大事にがんばっていきましょう。



あんにょんはせよ～！韓青三重のパキヤンです。今回は、SF2014に向けて準備してきたことを報告します。

今回は全く初めての若い参加者が多かったので心配してしま

したが、実際に新しい参加者を見てみるとスノーボーを楽しんだり講演や班別も熱心に聞いていてとても安心しました。振り返ってみると1月の成人者祝賀会からはじまり、2月にはSFの文化発表の練習と初めて参加する人たちに向けてのイベント。そしてSFが終わった一週間後には、打ち上げ&感想会であらためてSFに参加した人と、残念ながら参加できなかった人とも想いを共有したりと、しっかり活動をしてきました。

これから後輩たちのために、積極的に声をかけて面倒を見ること、そして自分たちが在日の歴史や渡航史などをしっかり学び、それを実践を通じて教え伝える活動を頑張ろうと常任一同、気合が入っています。

でも、楽しむ時は楽しんで、メリハリを利かして頑張っていこうと思いますので、アプロドチャルプタッカンミダ！



東京本部では、冬期講習会終了後に「在日と祖国 統一へ向けて。」というテーマで学習会を開催し、冬期講習会で語りきれなかった統一と在日同胞の関係についてあらためて学びました。日本に住んでいる私たちと祖国の関係、そして統一したらどうなるのかという内容を、忌憚なく意見を出し合いながら討論を深めていきました。初めて参加するメンバーもいて、内容も熱くなるものであったのもありましたが、いつも以上に熱のこもった学習会になりました。

また4月に入ってから予定が目白押しで、第一週には花見を行いました。あいにく雨にみまわれ開始30分で事務所へ移動となってしまいましたが、花より団子な私たちは室内でも大いに盛り上がりました。そして四週目、4月27日は葛飾区の水元公園で毎年恒例のバーベキュー、ゴールデンウィーク明け5月14日には春期ウリマル教室開講式も行います。

冬期講習会に参加したメンバーも迎えて、この春は多くの同胞が集う本部作りに邁進していきます。



HANCHUNGで韓国語

地域	本部	交通アクセス
東京地域	千代田区神田佐久間町 3-21-401	各電鉄 秋葉原駅 徒歩5分
大阪地域	生野区安楽 3-13-6	JR 桃谷駅 徒歩10分 地下鉄 今里駅 徒歩10分
神奈川地域	横浜市神奈川区青木町 2-1-207	京浜東北線 磯子駅 徒歩10分
愛知地域	名古屋市昭和区徳川 3-8-10	名鉄 徳川駅 徒歩10分
兵庫地域	尼崎市七松町 3-13-1F	JR 立花駅 徒歩7分
広島地域	広島市西区南郷町 1-7-21-203	JR 横川駅 徒歩5分
三重地域	四日市市本町 8-16 山下ビル	JR 四日市駅 徒歩2分
京都地域	京都市下京区西院通堀小路下 キャンパスプラザ京都内会議室	各電鉄 京都駅 徒歩5分

※ 所在地 交通アクセス

全国8都市 9教室！

韓青韓国語教室の ▶▶▶ ☎ 0120-734-101
申込み・問合せは ▶▶▶ ✉ chuo@hanchung.org



アンチェロ

今日からみんなで야야여始めました! 三重はキムチ鍋で一す*



韓青京都のベリッシモ

開講式で何か作ろうかな。



福岡ドリーミン

暖かく迎え入れてくれて 정말 감사합니다!! 여려분 사랑해요!! 큰 행사는 꼭에는必ず参加したいのでよろしくお願いします。



39オンマ

キンパ作りは簡単そうに見えて実は奥が深い。



チャニルと呼ばれた男 36

来たで、親戚(笑)素直でとてもいい子やね。キャンプもきてくれる。長野で親戚ご対面^^



やる気ギンギン丸

じえじえ! 朴クネ政権に倍返しだ! 統一運動するなら、いまだしょ! 韓青スノーフェスティバルでお・も・て・ナッシー!

「한마디」とは「一言」という意味です。韓青全国の盟員が普段活動をしている内容やつぶやきをざっくばらんに紹介していきます。



出会おう同胞青年、出会おう韓青

第50回韓青全国冬期講習会—SnowFestival2014

去る3月7日から9日までの3日間、たくさんの同胞青年が集う中、記念すべき第50回韓青全国冬期講習会（スノーフェスティバル2014）を開催しました。

冬といえば、やっぱりゲレンデ！今回はスキー＆スノーボード未経験者が多く、最初は誰もが苦戦していましたが、最後にはリフトののって見事に滑り降りていました。青年は飲み込みが早い。もちろん遊んでばかりではありません。グループ別講演や班別討論の他、特別企画として中央委員長も歴任された韓統連大阪本部・金昌五副

代表を招いて記念講演を行い、韓国人という出自に思い悩んだ青年期、韓青に出会い祖国・民族に向き合うようになった過程を話して頂きました。また、参加者全員参加で朝鮮半島の人文字を作って記念写真をパチリ！などの50回記念企画も行いました。

メインの韓青文化マダンでは雰囲気も最高潮！各本部の文化発表と各班の寸劇は例年以上の高水準。寸劇では参加者たちの「もう一つの顔」が出てきますねー。これも民族の血がなせるワザか？クライマックスの群舞では全員立ち上

がっての大熱狂。う～ん、今から来年が楽しみだ…気が早いですね。

とにもかくにも、50回目にふさわしい熱気に溢れた冬期講習会でした。今回は参加した青年の生の声をいくつかピックアップしてお伝えします。



楽しんでいる自分かいることにビックリ

民族は楽しい

◎京都、チョン・イノク



今回、初めて冬期講習会に参加して感じたことは、まず、何よりも、同じ民族が一つの場所に集まるだけで、こんなに楽しい場になるんだ、ということです。

ひと前でチャンゴの演奏をするのは、すごく苦手で、気が進まなかったのですが、いざ、本番になり、京都のオッパたちと演奏すると、いつの間にか楽しんでいる自分が

いることに、すごく自分でもビックリしました。

また、班討論では、12年間民族学校に通い、それだけで私は、自分の民族のことを全て分かっているつもりになっていた、ということに気付かされました。

まだまだ私が知らないだけで、同じ境遇で生きてきた同胞でも、根本的な悩みは似ているかもしれませんが、自分とは違うその人なりの葛藤、価値観があり、とても

刺激を受けました。

SFで感じたことを自分の中で大事にしながら、日々、韓青活動をしていきたいと思います。

3班の皆さん、そして韓青京都のオッパたち、コマッスンミダ！ぜひ、次回は、喋れなかったオンニ、オッパ、そして後輩たちと、たくさんお話したいです。



同じ在日として1つになれた

隠さず胸をはって言える

◎三重、コ・リファ

二泊三日のスノーフェスティバルすごへっすみだ。

何もかも初めての経験でした。今回誘われて参加する事に決めました。知らないトンムたちやオッ

パ、オンニばかりなのに、なぜ参加したのか？しかし、この二泊三日を通してたくさんの事を学ぶことができました。

初めて滑ったスノーボーや出会えた在日韓国人の仲間たち。同じ在日として1つになれたと思います。

あんまり、会える機会が無い中この様な行事で在日韓国人だけが集まるってことは、なかなかありません。誘いを断ってたらみんなに会える事も無かっただろうし、韓青三重にも顔を出す事は、無かったと思います。誘ってくれたオンニはもちろん、優しく1から教えてくれたオッパ、オンニ達、本当にこまっすみだ。

二泊三日を通して学べた事は、た

くさんありますが、その中で1つ思っているのが、この先自分が在日韓国人だと言う事を隠さず胸をはって言えるという事です。これからも色々な行事に積極的に参加してみんな韓青三重を盛り上げていきたいです。

全国の同胞はどこにいても同じ 私の居場所

◎福岡、チェ・チルモン

私が今回、韓青のSFに参加するきっかけとなったのは、朝鮮奨学会の友だちに誘われたからです。福岡には本部がないらしく、申込みする前もSFに行く前も、直接説明の電話を何度も丁寧に頂いたことにとても感謝しています。おかげさまであんなに楽しい場に参加することができました！韓青についてわかっていたのはざっくり、在日コリアンの青年の集まりということだけで、どんな団体で、何をテーマにしているのか知らずに参加することになりました。



や、祖国統一という考え方で、ここにも私の居場所がある！と実感でき、とても嬉しかったです。やはり、全国の同胞はどこにいても同じ考えであるということを感じることができました。私は、日本学校しか通ったことがなく、地元の福岡でもこういう場しか民族の交流ができません。だからこそ学べるがあることに最近気付きました。もっともって同胞のみんなであつなかりを持つこと、民族を大切にすることの中で、自分自身を成長させたいです！

これからも、韓青には積極的に参加していきたいです！！LINEで他の本部で活動が行われているのを見る時、私も離れていてさみしいとは思いますが、みなさんが楽しそうにしているんだか嬉しいです。

終わりに、福岡から飛び入り参加したにもかかわらずあたたかく受け入れてくださり、とても楽しい時間を過ごすことができました！この縁を大事にしたいです！表彰もしていただきありがとうございました。大切に使用させていただきます。

自分の今まで見ていた視野を広げる 刺激的な3日間

◎三重、チョン・ユマ

冬期講習会はとても、おもしろく、楽しく、そして自分にとってとても刺激的な3日間でした。班別討論では、講演を聴きその事について他の人の意見や考え方を聞いて自分と違う考え方をしている人もいたのですが、不思議なことにそれは『違う』と全て否定する事はできずむしろ『そうだ!!』と肯定的な意見として受け入れる事ができ、自分の今まで見ていた視野を広げる事ができたと思います。

文化マダンでは普段触れる事のない民族的な文化に触れる事ができとても刺激になりました。また、自分のルーツが韓国・朝鮮にあるんだと再認識でき、とても楽しみながら楽器をしたり、聞いたり、踊ったりしてとても良い体験になりました。

そして、やはり冬期講習会だけに皆さんも楽しみにしているボードが一番楽しかったです。最初は全く滑ることができなかったのですが、優しい先輩方



が自分の為に一生懸命教えて下さり2日目には楽しく滑れるようになりとても楽しかったです。そしてこの冬期講習会で一番よかった事は、自分と同じ在日の方々とつながりを多くもてたことが一番大きなものであり大切なものだと思います。

来年はもっと全国から同じ在日の方々とどんどん巻き込みもっともって、この韓青をどんどん盛り上げていけたらいいと思います!!



悩んで迷って葛藤しながら、自分らしく 人生での一つの転機

◎東京、ヤン・チソン



私が今回初めてSFに参加して思ったことは、皆がこのSFで自分のことをもっと知りたい、得たいという意識を持って参加していたように感じました。私は今まで同胞の集まりなどに自ら参加したいと思ったことが一度もなく、なるべく誘われても避けていました。理由は「私はこの人

たちとは違う」という浅はかな気持ちでした。日本で生まれて、日本で生活して、日本の友人がいて、何も不自由がない。そんな時に自分と向き合わざるをえないことがあり、もう一度自分のことを知りたい、交流したいと思うようになりました。

SFで私が入ったのは3班で、初参加者も多い班でした。班別では色々意見を交わしながら、一人ひとりの素直でまっすぐな気持ちを聞くことができました。10代や学生の皆も逃げずに向き合っていて、私ももっと前に気づけたらまた何か違ったのかなと思ったりもしました。悩んで迷って葛藤しながら、自分らしく生きるために、それが在日朝鮮人として生きる道

でなくても間違いではないと思います。

SFで多くの同胞と出会い、沢山の刺激をもらいました。ずっとつながっていたいと思う仲間とも出会うことができ、私の人生での一つの転機だったと感じます。これからもっと自分を知り、向かい、学んでいきたいと思いました。

最後に、多くの協力してくれた皆様、準備で毎日動いていてくれた皆様、素敵な時間をコマスミダ！韓青SF50周年わーい！





維新政権の誕生

ベトナム戦争の長期化による、アメリカの「緊張緩和」への政策転換や、第七代大統領選挙での野党候補・金大中氏の善戦、労働運動の全国的拡大により、朴政権は、一気に窮地に追い込まれていきました。もはや朴政権にとって、打開策は物理的強政策しか残されていなかったのです。

1972年10月17日、朴正熙大統領は非常戒厳令が宣布されている中で、大統領特別宣言を発表し、国会を解散して非常国務會議を設置し、「祖国の平和統一を指向する憲法改正」を口実に、いわゆる「維新憲法」を公告しました。維新憲法のもと、朴正熙大統領は永久執権への道を歩き始めたのです。

弾圧のための体制

維新体制は「弾圧のためにつくられた体制」といってもいいほど、非民主的な強圧体制でした。大統領にあらゆる権限を与え、官僚や情報部などの統治機構を強化しました。大統領は、政権の息のかかった統一主体国民會議によって選出され永久執権が可能であり、国会解散権と緊急措置権を持ち、国会議員の1/3に相当する維新政友会議員を指名することができました。憲法の名の下に、超法規的な権限が 대통령に与えられたのです。

このような暴挙に対して、学生や言論人を中心に、民衆は激しく抵抗しました。野党政治家たちは政権批判を強め、日本に亡命を余儀なくされていた金大中氏と海外の民主化運動が手を結び、韓国民主回復統一促進国民會議（韓民統、現・韓統連）を結成しました。これに対し朴正熙政権はKCIA（中央情報部）を動かし、金大中氏を拉致する事件を起こしました。しかし、この事件をきっかけとして、国内外で真相究明を求める声は高まり、かえって維新体制は追い込まれる形となりました。

朴正熙政権はこれに対して、徹底的な弾圧を強行。緊急措置令を發布し維新憲法批判を禁止し、「人民革命党事件」を捏造し、民主化運動を牽引していた全国民主青年学生総連盟「民青学連」の幹部など多くの民主人士を投獄、処刑しました。このような大弾圧によって、社会運動は一時的に活力を失い、「民主主義の冬」の時代が訪れたのです。



韓民統の結成

維新独裁の終焉



朴正熙暗殺を伝える
当時の新聞記事

方、朴政権の基盤をкаろうじて支えてきた経済成長が、このころには凋落し始めていました。深刻な経済不況の中、労働者たちはきわめて低い給料で長時間労働を強いられ、使い捨てのように搾取されていきました。労働者たちは生存権を確保するため、労働運動を粘り強く展開していきました。

1979年8月、YH貿易の工場閉鎖に抗議した労働者たちが新民党本部に籠城する事件をきっかけに、釜山、馬山を中心にして街頭デモを展開、大規模闘争となりました（釜馬民主抗争）。孤立を深めていく朴正熙政権は、強行的な弾圧を繰り返してきましたが、10月26日、腹心の金載圭・中央情報部長によって射殺され、維新体制は終焉を迎えました。

強権と暴力によって韓国社会を支配した維新政権ですが、民主主義を求める民衆の力を完全に封じ込めることはできず、闘争によって政権は崩壊し、最後には腹心に暗殺されるという悲惨な末路をたどりしました。まさに現在の韓国社会において、想起すべき歴史の教訓であると強く感じます。

한정 시점으로
현 정세를
해설합니다

韓青視点

「大統領選挙・不正介入事件」で国民から多くの反感を買っている国家情報院（国情院）ですが、その真相究明もなされていない状況の中、今度は裁判所資料を捏造するという証拠偽造事件を引き起こしました。6月4日におこなわれる統一地方選挙を前に、国民からの信頼を取り戻そうと「スパイ事件」を活用して世

論の引き締めを図ろうとした国情院ですが、またも国民から厳しい批判が突きつけられています。改革を求めている国民の声は、もはや解体を要求するまでに高まりました。また、国情院を徹底して守ろうとする朴槿恵政権にも非難が集中しています。

国家情報院は 国家操作院！

国情院、今度は司法制度も否定！
国民からは、解体要求の声！



「証拠偽造事件」

2011 年からソウル市の契約職員になった元「在北華僑」であるユ・ウソン氏（男性 34 歳）が、「業務で得た韓国在住の脱北者約 200 人の情報を北朝鮮に流した」「妹が『兄はスパイ』と自白した」として、昨年の 1 月に国家保安法違反罪で拘束されました。しかし裁判の過程で、妹が「拷問を受けて虚偽の自白をした」としてそれまでの陳述を覆したことで、国情院の捜査結果が事実と異なる点も多数確認されたことから、ソウル中央地裁は昨年 8 月に無罪を宣告しました。

控訴した検察は、今年 2 月、国情院が瀋陽領事館で確保したとされるユ氏の「朝中間の出入国記録」を証拠資料として提出しましたが、その「出入国記録」が偽造された書類であることが判明し、国情院や検察の「司法制度に対する侮辱」として非難されています。中国も「中国の公文書と公印を偽造した刑事犯罪の疑いがある」として重大視しています。

3 月 5 日、国情院の協力者とされる金 B 氏がホテルで自殺を図り、遺書には国情院から 2 ヶ月分の給料 600 万ウォンと偽書類製作費 1,000 万ウォン、そして謝礼金が未払いであることを示唆していました。しかし、自殺現場は事件発生から 5 時間もたたずして片付けられ、「民主社会のための弁護士会」は「警察が保存せずに整理したことは証拠隠滅であり背後勢力の存在を疑わざるをえない」と指摘しています。

朴槿恵大統領の「遺憾表明」が出された 3 月 10 日に、検察が国情院を押収捜索しましたが、翌日に国情院を抗議訪問した民

主党議員は「検察は今回の事件の最終実務責任者だと言える対共捜査局長室に入ることもしなかった」として、検察の家宅捜査の実効性に大きな疑問が提起され、市民団体からは「検察と国情院はグルだ」との見方も出ています。実際は、事前に南在俊国情院長の同意を受けた後、国情院職員の案内を受けて、国情院が提出した書類だけ確保するという言葉だけの強制捜索だったことが暴露されました。

裁判過程などから現在までに判明されていることをまとめると、国情院の金 A 課長が国情院協力者の金 B 氏に「出入国記録」の偽造を指示し、それを国情院職員とされるイ瀋陽駐在領事が偽造文書を中国の公文書だとして「領事確認書」を作成し、検察と裁判所に提出したものと見られています。現在は、どの次元の上層部が介入したかに焦点が向けられています。

破壊された民主主義

起訴が公表された 2013 年 2 月当時、国情院は「大統領選挙不正介入事件」で国民から徹底的な批判を受けていました。ハンギョレ新聞は「ユ被告の摘発で国情院は劣勢をはね返した」と指摘しています。また、ソウル市が「スパイを見抜けず採用した」と非難されたこともあり、「朴元淳市長に打撃を与える狙いがあったのでは？」とも言われています。

また、この時期におこなわれた過去事実真相究明委員会では、駐日領事であった元中央情報部要員が証言し、金大中元大統領の「内乱陰謀事件」も「金整司氏スパイ事件」でも日本から送った「領事証明書」が証拠物として提出されていたこと、そして「領

事証明書」は本部の指示によって作成されていたことが明らかになりました。

「大統領選挙不正介入事件」が選挙制度に対する挑戦だとすれば、今回の「証拠偽造事件」は司法制度に対する挑戦と言えます。両事件ともに、民主主義の根幹を脅かすことにも関わらず、朴槿恵大統領は国情院への責任を追及しようともしていません。そのような姿勢に、野党や市民団体は、朴槿恵大統領の公開的謝罪を要求すると同時に、南在俊国情院長の解任を要求しています。

国民から「もうやってられない」

この事件だけでなく、公約破棄、民生破綻、民主主義破壊の朴槿恵政権に厳しい国民の目が向けられています。

政権発足の 1 周年にあたる 2 月 25 日には、各団体が「朴槿恵政権 1 年、このままではやってられない国民大会」と称した「国民全面ストライキ大会」を開催しました。ソウルの 4 万人をはじめ、全国 12 地域で 10 万人余りが参加し、ストライキを行った事業場は 867 ケ所と集計されています。民主労総のシン・スン Chol 委員長は、この日を政権退陣闘争の出発点とする位置づけであることを明かしました。

朴槿恵政権の下で「大統領選挙不正介入」と「内乱陰謀ねつ造」「スパイねつ造」を指揮した南在俊国情院長を解任、拘束起訴して真相を究明しなければなりません。なによりも、これまで長きに渡って無実の市民をスパイにねつ造してきた国情院は直ちに解体されなければなりません。それが果たされない時、国民ストライキの輪は政権審判の動きへと本格化していくでしょう。



私の本棚 読書紹介：『あの壁まで』 — パク・ミョンチョル

1970年代から80年代の韓国は軍事独裁政権が猛威をふるった時代。本書は“暗黒”ともいわれるこの時代に「北のスパイ」としてでっち上げられ、16年間の獄中闘争を余儀なくされた在日韓国人とその家族の闘いの記録だ。モデルは統一運動家でもあられた崔哲教先生、著者は韓青中央委員長を歴任された黄英治先輩、そして主人公でもある〈わたし〉は、いつも韓青に暖かい愛情を注いでいただいているスギ先輩。

アボジの無実を晴らすためにオモニと一緒に救援運動に身を投じた〈わたし〉と家族。繁華街でのハンストや救援集会、領事の嫌がらせに耐えながらもパスポートを手にして実現したアボジとの面談、ポツタリ・チャンサのごとく日本と韓国を行き来する日々…気が遠くなるような長期の救援運動を通して釈放を勝ち取るまでの道のりは、まぎれもなく苦難に満ちた韓国現代史、そして在日同胞史の1ページだ。私のような青年世代にとって、在日韓国人政治犯救援運動は活字で学んだり先輩方から伝え聞く“歴史”であったが、本書では救援運動に苦悩する〈わたし〉の姿や救援運動の内面が生々しく描かれ、当時の出来事や風景が、まるで実体験したかのように脳裏に浮かんでくる。あの時代の“延長線上”に“いま”があることを実感した。

また本書のもう一つの魅力は、日本でありながら韓国人として生まれたことに苦悩する在日同胞青年の心の声に寄り添っている点だ。通名で高校に通い韓国人としての素性を隠すことに汲々とした〈わたし〉の葛藤、ソウルの金浦空港で出会った在日韓国人留学生〈オンニ〉の告白は、時代を問わず今も私たちを在日同胞青年の心を激しく揺さぶる。在日同胞の苦悩 - 2人の苦悩の背景に、祖国の分断とそれに依拠する軍事独裁政権、日本の差別・抑圧政策があることを意識せざるを得ない。

最終章では、アボジは自分の代わり刑場の露と消えた友を思いその“罪”を吐露しながら、自らが拘束されたソウル拘置所 - 現在の西大門歴史館 - を訪ねることの意味を考える。実際、アボジ - 崔哲教先生は、ソウル拘置所で、慟哭のボプラの前で何を思われたのか。鬼籍に入られた崔先生からお伺いする術はないが、出来る限りの想像力で考えてみたい。(明)



この壁と同じ壁のなかに、アボジがいる。
アボジが閉じ込められている。
「負けるもんか! 負けてたまるか!」
かつての軍事政権下、韓国を訪問中、無実のスパイ容疑で逮捕され、死刑を宣告されたアボジを救出するためにたたかい続けた在日家族の物語
影書房 定価 1,800円+税

『あの壁まで』
著:黄英治 出版社:影書房
定価 1800円+税



歌い継ぐ闘争の歴史

前進せよ 四月の若い獅子たち

『사월의 젊은 사자』

サ ウオ レ チョルムン サ チャ

四月革命の勝利の熱風の中から生まれた私たち韓青のテーマソングとも言える曲、それが『사월의 젊은 사자(四月の若い獅子)』です。

1970年代に入り、民団民主化闘争から反独裁民主化闘争へと韓青の運動が発展していく中で、時代と運動の要求に見合った歌を自ら作り出そうと作られました。作詞は当時の韓青幹部であった金徳榮先輩と伝えられています。

現在も韓青で一曲歌うぞ!というタイミングでは必ずといっていいほど選ばれる曲で、前奏が聞こえてくると自然と握られたこぶしが天高く突き上げられ、若い獅子たちの力強い合唱が始まります。現役の幹部はもちろんのこと、韓青を卒業した先輩方とも一緒に歌うことができる、韓青で祖国の統一と同胞の解放に青春を燃やした人間にとってエバーグリーンな一曲です。



<日本語訳詞>

ソウルの街に聞いてみよう
四月の空よこたえておくれ
正義の若い獅子はどこへ行き
五臓が手を振るう世界になってしまったのか
祖国の統一と同胞の解放 肩に担った若い勇士たち
血を流し 倒れても 再び起き上がり
前進をくり返す 若い獅子たち 若い獅子たち
※五臓=財閥、国会議員、高級公務員、将軍、長・次官

editor's letter

50回目の記念すべき冬期講習会が大成功で終わることができたのもつかの間、3月末に中央委員会、そして4月には幹部研修会、ウリマル教室開講式と走り続ける日々が続いております。

大変ながら楽しい活動の日々ですが、困ったことが一つ。映画を観る時間がない。

済州 4.3 を描いた『チスル』、大阪朝鮮学校のラブビー部を追った『60万回のトライ』は公開中。朝鮮戦争下のパルチザン闘争を描いた『南部軍』、前に弊誌で紹介した『南営洞1985』の二作は4月末から公開。かなり頑張って時間を作って、この4作だけは劇場で観たいと思っています。

ご意見ご感想、投稿は

chuo@hanchung.org